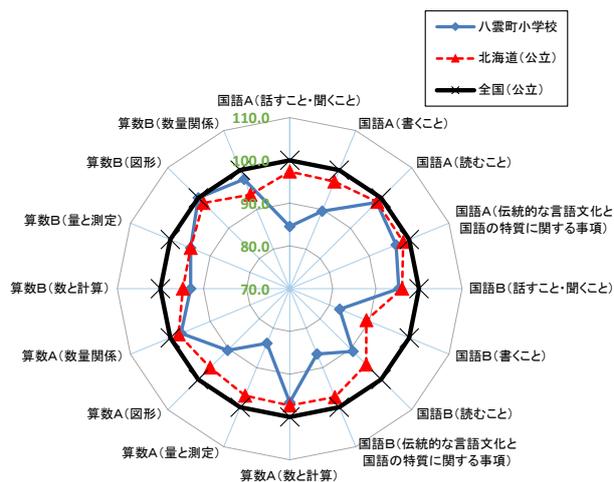


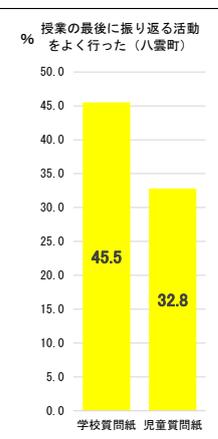
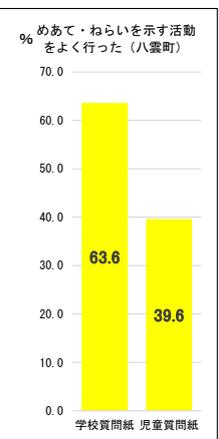
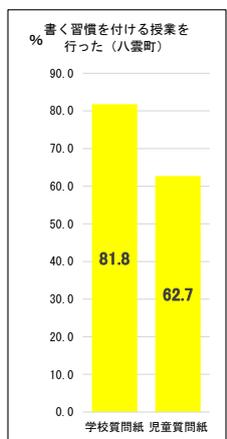
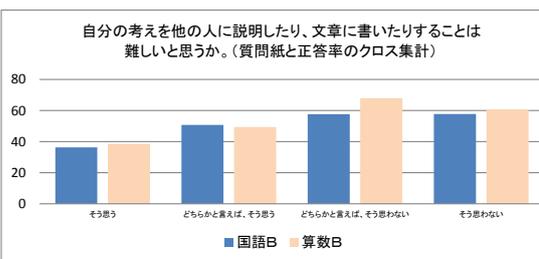
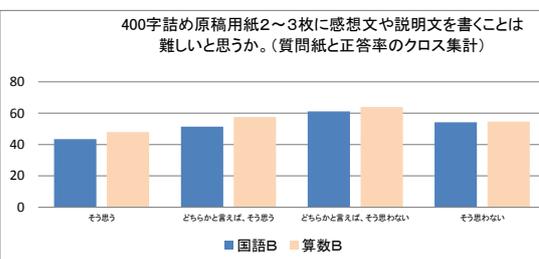
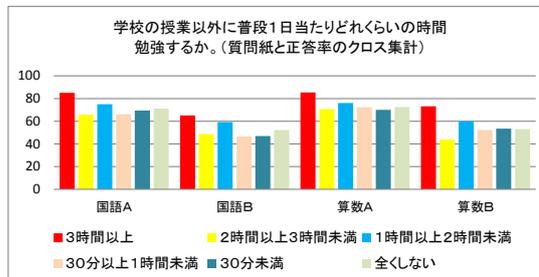
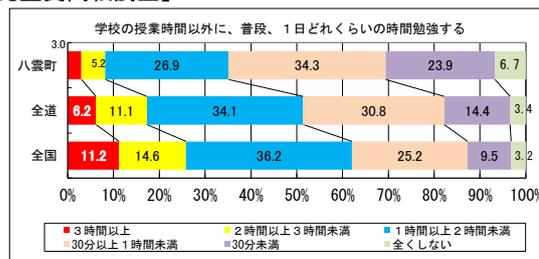
# ■ 八雲町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:11校、児童数:134名)

## 【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



## 【児童質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教科の平均正答率は、国語・算数とも全国・全道平均との差が縮小している。</li> <li>○ 国語では、記述式問題の正答率が低く、「書くこと」に課題がみられる。</li> <li>○ 算数では、数量関係や図形の問題に課題がみられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業で自分の考えを説明することや、感想文、説明文を書くことを難しいと感じていない児童のB問題正答率は高い傾向にある。</li> </ul>
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校の授業以外の1日の学習時間が1時間未満の児童が6割以上いる。</li> <li>○ 家庭学習をしている児童の教科の正答率が高いとは限らない。</li> </ul>	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「授業の冒頭で目標(ねらい・めあて)を示す活動」「授業の最後に学習したことを振り返る活動」「書く習慣を付ける活動」を行った学校が多いが、児童質問紙の回答と差がある。</li> </ul>	

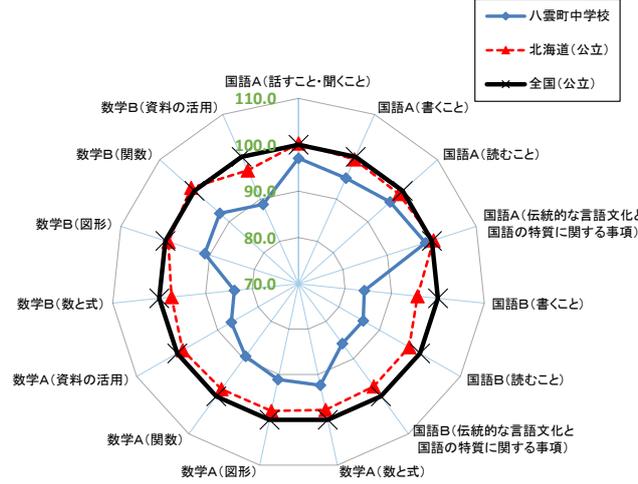
## 【八雲町の学力向上策】

- ◎ 町全体の結果からみられる課題を示し、各学校で自校の状況と比較しながら学校改善プランの見直しを進める。
- ◎ 町内各中学校区内の小・中学校が連携し、家庭学習の充実に向けた取組を行う。
- ◎ 「生活リズムチェックシート」を活用し、生活習慣の改善を図る。
- ◎ 「復習の時間」を適切に位置付け、チャレンジテストや全国学力・学習状況調査の過去問題を活用した補充・深化の時間を確保した教育課程を編成する。
- ◎ 授業改善を目的とした研修を充実し、教師個々の授業力を高めるとともに、組織としての学校力の充実を図る。

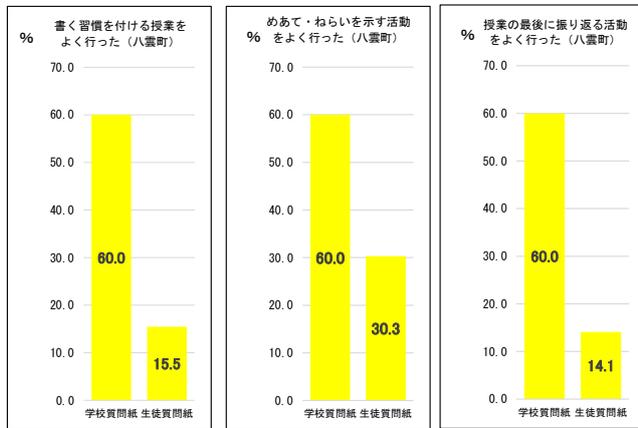
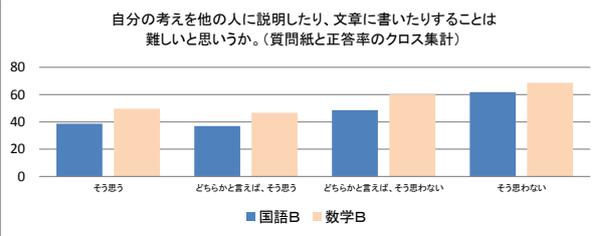
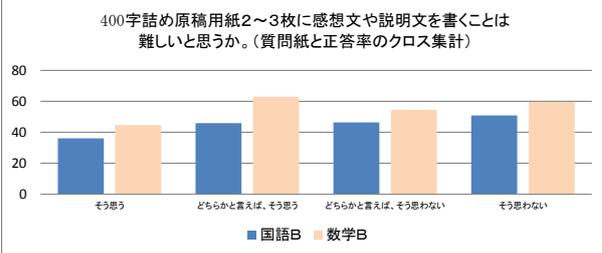
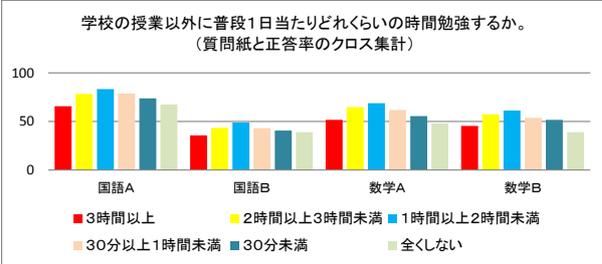
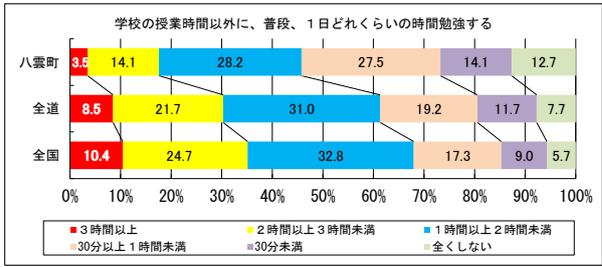
■ 八雲町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:5校、生徒数:142名)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものの(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平均正答率は、国語A・B、数学A・Bとも全国との差がやや広がった。</li> <li>○ 国語では、記述式問題の正答率が低く、「書くこと」に課題がみられる。</li> <li>○ 数学では、図形の証明や関数等の設問に課題がみられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業の中で自分の考えを説明することや、感想文、説明文を書くことを難しいと感じていない生徒のB問題正答率は高い傾向にある。</li> </ul>
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校の授業以外の1日の学習時間が1時間未満の生徒が半数以上いる。</li> <li>○ 家庭学習をしている生徒の教科の正答率が高いとは限らない。</li> </ul>	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「授業の冒頭で目標(ねらい・めあて)を示す活動」「授業の最後に学習したことを振り返る活動」「書く習慣を付ける活動」を行った学校が多いが、生徒質問紙の回答と差がある。</li> </ul>	

【八雲町の学力向上策】

- ◎ 町全体の結果からみられる課題を示し、各学校で自校の状況と比較しながら学校改善プランの見直しを進める。
- ◎ 町内各中学校区内の小・中学校が連携し、家庭学習の充実に向けた取組を行う。
- ◎ 「生活リズムチェックシート」を活用し、生活習慣の改善を図る。
- ◎ 「復習の時間」を適切に位置付け、チャレンジテストや全国学力・学習状況調査の過去問題を活用した補充・深化の時間を確保した教育課程を編成する。
- ◎ 授業改善を目的とした研修を充実し、教師個々の授業力を高めるとともに、組織としての学校力の充実を図る。